

令和7年度 授業改善推進プラン

| | 育成を目指す資質・能力 | 全国学力・学習状況調査、 学習評価等の結果に基づく課題 | 資質・能力を育む指導方法・ 指導体制の工夫 |
|----|--|--|--|
| 国語 | <ul style="list-style-type: none"> ・題材を決め、相手に伝わるように経験や思いなどを伝えたり、話し手の意図や話の中心を捉えながら聞いたりする力。 ・思ったことや考えたことを、助詞を正しく使って文章に書き表す力。 ・目的や意図に応じて内容を明確にし、表現の効果を考えながら書く力。 ・言葉に触れ、活用する力。 | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 本校における全国学力・学習状況調査 平均正答率 76.0% </div> <ul style="list-style-type: none"> ・事実と感想・意見などとの関係を叙述を基に押さえることが難しい。 ・文章全体の構成を捉えて要旨を把握することに課題がある。 ・目的に応じて文章と図表などを結び付けるなど、必要な情報と表現したい事柄とを結び付けることが難しい。 ・既習漢字の定着が低く、語彙の少ない児童が多い。 | <ul style="list-style-type: none"> ・目的や必要に応じて、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章などを引用したり、要約したりする。短い文章から始め、徐々に長文からも要旨を把握できるようにスモールステップで、話の中心をとらえる活動を増やす。 ・資料の効果やグラフのよさを全体で確認し、児童が必要な情報を理解できるようにする。 ・どのようなまとまりで書かれているのか、表現の効果は何かを全体で考え、読み手に与える印象の違いを理解できるように指導を工夫する。 ・朝読書の時間や読書マラソンを計画的に活用し、読書環境を充実させる。 ・言葉遊びを楽しんだり、漢字や文字を意識的に使ったりする活動を日常的に取り入れ、繰り返し活用できるようにする。 |

| | 育成を目指す資質・能力 | 学習評価等の結果に基づく課題 | 資質・能力を育む指導方法・ 指導体制の工夫 |
|----|--|--|---|
| 社会 | <ul style="list-style-type: none"> ・調べたことから人々の工夫や努力について考え、文章でまとめる力。 ・社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力。 | <ul style="list-style-type: none"> ・必要とする資料の収集・整理・取捨選択に慣れていない。 ・生活の中にある情報活用の問題の理解に課題がある。 ・資料を読み取り、分かったことを表現する力に課題がある。 | <ul style="list-style-type: none"> ・実際に調査した際の気付きや発見を学級で共有する中で、人々の工夫や努力を身近なこととして捉えられるよう指導する。 ・資料から分かることや、そこから考えられることを話し合うことで、多角的に物事を考える力を養う。 |

令和 7 年度 授業改善推進プラン

| | 育成を目指す資質・能力 | 全国学力・学習状況調査、 学習評価等の結果に基づく課題 | 資質・能力を育む指導方法・ 指導体制の工夫 |
|----|---|--|---|
| 算数 | <ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・基本的な概念や性質などを理解し、日常の事象を数理的に表現・処理する力。 ・見通しをもち、筋道を立てて考え、考えたことを分かりやすく表したり、発表したりする力。 ・文章や図、グラフ、表を適切に読み取り、立式など数理的に処理し、問いに正対した解答を導き出す力。 | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 本校における全国学力・学習状況調査 平均正答率 72.0% </div> <ul style="list-style-type: none"> ・単位の関係が理解できておらず、適切に単位換算できない児童が見られる。 ・高学年になるにつれて、知識・技能においても、思考・判断・表現においても、個人差が大きくなっている。 ・文章題において、適切に立式できない児童が見られる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・事象を数理的に考察したり、自分の考えを数学的に表現し処理したりする場面を日常的に設定し、活動の充実を図る。 ・具体物、図、表、グラフなど、相互に関連付けた指導を充実し、問題解決が円滑に図れるようにする。 ・友達と考えを交流して学び合ったり、学習を振り返ってよりよく問題解決できたことを実感したりする活動を充実させる。 |

| | 育成を目指す資質・能力 | 学習評価等の結果に基づく課題 | 資質・能力を育む指導方法・ 指導体制の工夫 |
|----|--|---|---|
| 理科 | <ul style="list-style-type: none"> ・事象から問題を見出したり、解決したりする力。 ・自然事象を適切な言葉を選んで考えを伝える力 ・実験技能を身に付け、自ら進んで調べようとする力。 ・学びを生かして豊かな暮らしや生き方を考える力。 | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 本校における全国学力・学習状況調査 平均正答率 66.0% </div> <ul style="list-style-type: none"> ・自然事象から問題を見出す力が十分でない児童が見られる。 ・生活経験を基に実験・観察の予想を立てにくい児童がいる。 ・学習したきまりやしぐみを当てはめて考える力が十分でない児童が見られる。 ・生物や環境とのかかわりについて学んだことを具体的な行動に移すことが課題である。 | <ul style="list-style-type: none"> ・根拠を求めて既習や生活経験を見直し、考えを広げる機会を増やす。 ・結果を基に結論を整理して表現することにより、用語も含めた知識理解の定着につなげる。 ・可能な限り一人一実験を実施し、器具の名称を押さえたうえで、同じ実験を繰り返し行い正しい機器の使い方への習熟を図る。 ・学習内容を生活科及び学年間、中学校との内容の系統性及び日常生活での活用や科学技術との関連に広げる指導を行う。 |

令和7年度 授業改善推進プラン

| | 育成を目指す資質・能力 | 学習評価等の結果に基づく課題 | 資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫 |
|----|---|--|---|
| 生活 | <ul style="list-style-type: none"> ・自分で興味をもち、挑戦する力。 ・気付いたことを表現し、伝える力。 ・気付いたことを生活の中で生かす力。 | <ul style="list-style-type: none"> ・興味をもって学習に取り組もうとする力はあるが、表現する力に個人差がある。 ・言語・文章で表現することに課題がある児童がいる。 ・生きものを育てることなど、様子に気付き生活に生かそうとする児童がいる一方で、必要性を考える力が弱い児童もいる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・児童の経験を想起させたり生かしたりできるような言葉掛けを意識するとともに、前年度の反省を生かした指導計画を立てる。 ・気付いたことを表現する方法を指導するとともに、表現方法には様々あることを伝える。また、友達に伝え合う場面を増やすことで伝える良さに気付かせる。 ・気付いたことを日々の生活の中で生かしていけるように、家庭と連携・協力を得る。 |

| | 育成を目指す資質・能力 | 学習評価等の結果に基づく課題 | 資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫 |
|----|--|---|--|
| 音楽 | <ul style="list-style-type: none"> ・表したい音楽表現をするために必要な技能 ・音楽表現を工夫したり、味わって聴いたりする力 ・音楽を愛好する心情、感性 | <ul style="list-style-type: none"> ・鍵盤ハーモニカ・リコーダー等技術の獲得に熱心に取り組む児童もいるが、個人差が大きい。 ・鑑賞に取り組む態度は、少しずつ向上している。 ・グループ活動等、協働で取り組む活動の経験が少ないこともあり、設定した時間よりも多くかかってしまう傾向にある。 | <ul style="list-style-type: none"> ・曲想や音楽構造の働きを理解し、表現に生かすことができるように、継続的・計画的に指導していく。 ・どのような表現するのか思いや意図をもたせ、曲の特徴にふさわしい表現を試したり考えたりする活動を取り入れる。 ・協働して音楽に親しむ場面の設定や、様々な音楽に親しむ場面を設定する。 |

| | 育成を目指す資質・能力 | 学習評価等の結果に基づく課題 | 資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫 |
|----|---|--|---|
| 図工 | <ul style="list-style-type: none"> ・自分の思いを表現するために適切な材料や道具を扱える力。 ・学んだことを生活の中で活用したり、応用したりする力。 ・身近にある作品などの形態から、表現の意図や特徴、よさや美しさなどを感じ取る力。 | <ul style="list-style-type: none"> ・カッターや彫刻刀でのけがが多い。また、扱いなれていない道具は、時間の経過で使い方を忘れてしまう。 ・課題に対して、発想が広がらなかったり、自分のやりたいことに技能面が追い付かなかったりすることで、意欲をなくしてしまう。 ・鑑賞することには積極的で、友達の良さも多く見つけられる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・活動に合わせた材料や道具を適宜用意し、扱い方などについて視覚的に手本や見本を示しながら指導する。 ・見通しをもって主体的に活動できる姿勢を育てる工夫をする。また、幅広く多くの造形活動の機会を設ける。 ・様々な作品に触れる機会を設定したり、自分の作品や他の人の作品を鑑賞して交流したりする時間を取り入れる。 |

令和7年度 授業改善推進プラン

| | 育成を目指す資質・能力 | 学習評価等の結果に基づく課題 | 資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫 |
|----|--|---|--|
| 家庭 | <ul style="list-style-type: none"> ・手縫いやミシン縫いによる目的に応じた縫い方及び用具の安全な取り扱いについて理解し、適切にできる力。 ・日常生活の中から課題を見付け、様々な解決方法を考え、進んで実践する力。 | <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な裁縫についての技能が十分に習得できていない。 ・授業で学習した事柄について、それを実生活に生かそうとする児童が少ない。 | <ul style="list-style-type: none"> ・実習では、一人一人が実技をしっかり行えるように、形態(一人実習)、道具の用意などを行う。 ・長期休みの宿題等で家庭での仕事に挑戦させることで、家庭や地域における役割意識をもたせる。 |

| | 育成を目指す資質・能力 | 学習評価等の結果に基づく課題 | 資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫 |
|----|---|--|--|
| 体育 | <ul style="list-style-type: none"> ・体を動かすことを楽しみ、自らの運動課題を見付け解決する力。 ・友達と協力し、よさを認め合い、考えを伝え合う力。 | <ul style="list-style-type: none"> ・体力テストの結果より、ソフトボール投げの結果が都の平均より下回っている学年が多く、投の力に課題を感じる。 ・個によって取り組みに差があり、得意と感じている子と苦手と感じている子で差が出やすい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・運動との出会わせ方を工夫し、誰もが十分に運動の特性を味わえる学習活動を計画する。場や環境を整え、学習カードやICT等を活用することで自己の課題を見付け解決する思考を促す。 ・領域に応じたチームやグループを設定し、学び合いながら学習が進められるようにする。動きのポイントや見る視点を与え、友達の活動を認め合いながら関わり合えるようにする。 |

令和7年度 授業改善推進プラン

| | 育成を目指す資質・能力 | 学習評価等の結果に基づく課題 | 資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫 |
|----|---|---|--|
| 国際 | <ul style="list-style-type: none"> ・学んだ英語を使って相手とコミュニケーションを楽しむ力。 ・相手意識、他者意識をもって話したり聞いたりすることができる力。 ・粘り強く英語を理解しようとしたり、伝えようとしたりする力。 ・自分ができると、できないことを自覚して、さらによりよい学びにするために学習を調整する力。 | <p>ワークテストの正答率約9割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手の英語を注意深く聞いて判断する力に課題がある。例えば、I like music. I can't play the guitar but I can play the triangle.を聞いて、「ギターもトライアングルもできる」と判断してしまう。 ・英語を書く力に差が大きい。アルファベットの小文字の認識が弱い児童が多い。 ・インプットするために発話をして学習するという学び方を選ぶことが少ない。いざ発表や友達とのやり取りをして「話せない」と気付くことが多い。 | <ul style="list-style-type: none"> ・毎授業に1回以上、これまでに学んだ英語を使って相手とやり取りをする時間を設ける。やり取り後、相手が話していた内容を確認したり、相手を大切にしたり取りをしていた例を紹介したりする。ペアでの活動を主にする。 ・毎授業の始めにアルファベットを聞いて書く活動を入れ、音と文字を結び付けられるようにする。 ・単元構成を工夫し、単元の中盤において、自分で学習方法を選んで自信をもって英語を発話できる活動を入れる。その際、口に出してインプットとアウトプットを繰り返すことの大切さを伝える。 |

| | 育成を目指す資質・能力 | 学習評価等の結果に基づく課題 | 資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫 |
|----|--|---|--|
| 道徳 | <ul style="list-style-type: none"> ・善悪を判断する力。 ・相手を尊重し、礼儀を示そうとする態度。 ・友達と互いに理解し合い、思いやる心。 ・人間としてもつべき規範意識を身に付け、実践しようとする意欲。 ・自他の生命を尊重し、命ある物を慈しみ、大切にしようとする心情。 | <ul style="list-style-type: none"> ・道徳的価値に対する理解は深まっているが、振り返りの際、道徳的価値に対して自分事して捉え、生活と結び付けて考えることが難しい児童がいる。 ・「主として自然や崇高な物との関わりに関する事」について考える経験が乏しく、感動・畏敬の念を感じたり表現したりすることが難しい児童がいる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・道徳の授業を要として、全教育活動を通して意図的・計画的に指導に当たる。 ・表現活動や話し合い活動を取り入れ、多様な考え方に接し、自分の考えを広げたり深めたりする場面を作る。 ・すべての内容項目について、まんべんなく道徳的価値の理解を深め、自分事として考えられる発問を行い、多面的・多角的な考え方を育む。 |

令和7年度 授業改善推進プラン

| | 育成を目指す資質・能力 | 学習評価等の結果に基づく課題 | 資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫 |
|------|---|--|---|
| 特別活動 | <ul style="list-style-type: none"> ・異学年交流を通して、多様な他者と協働し、集団活動に自発的に参加しようとする力。 ・集団や自己の生活、人間関係の課題を見出し、合意形成を図ろうとする力。 | <ul style="list-style-type: none"> ・話し合いの際、多様な意見を受け入れたり合意形成を図りながらまとめたりすることに課題がある。 ・学校生活の中から課題意識をもち、自ら課題解決を図ろうとする意欲が低い。 | <ul style="list-style-type: none"> ・児童主体の計画→実践→振り返り→改善の活動を行い、問題意識を表出したり具体的な活動をしたりできる流れを作る。 ・合意形成を大切に、話し合いにおいては、他の意見を尊重し認め合うことを通して皆が主体的に話し合いに参加できる雰囲気をつくる。 |

| | 育成を目指す資質・能力 | 学習評価等の結果に基づく課題 | 資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫 |
|-----------|---|---|--|
| 総合的な学習の時間 | <ul style="list-style-type: none"> ・日々の生活に目を向け、興味・関心あることを増やし、問いをもとうとする力。 ・課題解決や探求活動に主体的、創造的、協働的に取り組む力 | <ul style="list-style-type: none"> ・課題に対して、継続的にかかわる力の向上を図る必要がある。 ・課題設定→情報の収集→整理・分析→まとめ・表現という探究的な学習が系統性をもって確率されていない。 | <ul style="list-style-type: none"> ・自分の興味・関心のあることを見付けられるように、様々な体験活動を各学年に取り入れる。 ・グループ活動、個人活動をバランスよく取り入れ、協働的に学習を深める機会をもつ。 ・各教科で身に付けた力を、横断的・総合的に生かせるようカリキュラムマネジメントを行う。 |